

- |  |            |
|--|------------|
| 1. 日本生物学的精神医学会 2011年度第2回理事会議事録           | 武田雅俊 (理事長) |
| 2. 2012年度前期の国際学会発表奨励賞の公募について             | 武田雅俊 (理事長) |
| 3. 日本生物学的精神医学会 2012年度「若手国際交流プログラム」公募のご案内 | 武田雅俊 (理事長) |
| 4. 第34回日本生物学的精神医学会                       | 米田 博 (大会長) |

**日本生物学的精神医学会  
2011年度第2回理事会議事録**

日 時：2011年11月20日（日）16：00～19：00

場 所：東京八重洲ホール101会議室  
（中央区日本橋3-4-13）

出席者：10名（内、理事8名）  
武田雅俊理事長，大久保善朗，佐野 輝，  
白川 治，福田正人，山脇成人，  
岸本年史，西川 徹 各理事，  
米田 博会長，平安良雄オブザーバー

欠席者：10名（内、理事8名）  
尾崎紀夫，笠井清登，染矢俊幸，  
岩田仲生，大森哲郎，神庭重信，  
鈴木道雄，村井俊哉 各理事，  
松岡洋夫，渡辺義文 各監事

議 題：

1. 前回議事録案承認 武田理事長
2. 理事長報告 武田理事長
3. 会計報告 染矢理事，岸本理事  
1) 2011年度会計中間報告
4. 会員数および新入会員に関する件  
大久保理事，大森理事
5. 各委員会報告
  - 1) 総務委員会 大久保理事，大森理事
  - 2) 広報委員会 山脇理事，岩田理事
  - 3) 財務委員会 染矢理事，岸本理事
  - 4) 国際交流委員会 尾崎理事，神庭理事
  - 5) 学術賞委員会 西川理事
  - 6) 倫理委員会 白川理事，鈴木理事
  - 7) 将来計画委員会 笠井理事，岩田理事
  - 8) 関連学会対応委員会 佐野理事
  - 9) 編集委員会 福田理事，村井理事
  - 10) ブレインバンク設立委員会 尾崎理事
  - 11) うつ病対策ワーキンググループ 神庭理事
  - 12) WFSBPワーキンググループ 武田理事長

6. WFSBP報告 平安オブザーバー
7. 第34回年会準備報告 米田会長
8. 第35回年会（WFSBP 2013）準備状況報告  
武田理事長
9. 第36回年会について 武田理事長
10. その他
  - 1) 名誉会員推戴の件 武田理事長
  - 2) 自殺総合対策大綱改正レビュー報告書の件  
武田理事長，尾崎理事

1. 前回議事録案承認  
武田理事長より2011年5月20日（金）開催の2011年度第1回理事会議事録の案が示され，原案どおり承認された。

2. 理事長報告  
武田理事長より，第33回日本生物学的精神医学会が東日本大震災の逆風の中ながら盛会裏に終了したこと，また，WFSBP 2013の開催に向け鋭意企画が進んでいる旨の報告がなされた。

3. 会計報告
  - 1) 2011年度会計中間報告  
岸本理事に代わり学会支援機構担当者より2011年9月30日現在の財務諸表を基に概況に関する説明があった。報告・合意事項は次のとおり。  
①5月に予定されていた本年度会費未納者への再請求が未了となっているため，会費収入における予算達成度が例年より低くなっているが，理事会終了後速やかに発送を行い，年度内の回収を図る。  
②WFSBP年会費等の未執行と考えられる支出と，前期から続いている未払費用が残っているため，帳簿の調査を行い，年度内にこれらの未整理案件を処理する。  
③基金については今後本学会が法人化する

際の諸費用の積立という性格が強かったが、現状を踏まえると当面の間法人化は困難であると考えられることから、今後はトラベルアワード等の定例的ではない事業での費用を中心に、積極的に残高の取崩を行うことで一般会計への一本化を図っていく。したがって、今期予算に計上されていた基金への150万円の繰入は中止とする。

#### 4. 会員数および新入会員に関する件

大久保理事より2011年5月1日～11月10日の間の会員数の推移に関する説明があった。報告・合意事項は次のとおり。

- ①従来は推薦書未提出による仮入会者について理事会の場で役員からの推薦を募り、会員として承認していたが、以降はこれを中止し、今回については事務局より推薦書提出の督促を行うとともに、事務局レベルで止むを得ない事情があると判断した場合は理事長による推薦の可否を検討する。
- ②今後の入会手続についてはオンライン申込の利便性と本学会の目的の十分な理解の確認を両立できるよう、「推薦が可能な評議員のない場合は申込時にメール等での審査及び推薦を依頼したい評議員の氏名を届け出る」等の改善策を検討する。改善策については事務局にて素案を作成し、大久保理事の承認をもって運用を開始する。

#### 5. 各委員会報告・審議事項

各委員会共通の付議事項として、各理事より示された各担当委員会のメンバー案は次のとおり。なお、前回理事会で承認済の理事兼任委員は\*印を付す。

##### 1) 総務委員会

委員長 大久保善朗\* 日本医科大学  
委員 大森哲郎\* 徳島大学  
橋本亮太 大阪大学

##### 2) 広報委員会

委員長 山脇成人\* 広島大学  
委員 岩田仲生\* 藤田保健衛生大学  
稲垣正俊 国立精神・神経医療研究センター  
須原哲也 放射線医学総合研究所  
橋本亮太 大阪大学  
山田光彦 国立精神・神経医療研究センター

##### 3) 財務委員会

委員長 染矢俊幸\* 新潟大学

委員 岸本年史\* 奈良県立医科大学  
4) 国際交流委員会  
委員長 尾崎紀夫\* 名古屋大学  
委員 加藤忠史 理化学研究所  
神庭重信\* 九州大学  
工藤 喬 大阪大学  
齋藤利和 札幌医科大学  
武田雅俊\* 大阪大学  
平安良雄 横浜市立大学

##### 5) 学術賞委員会

委員長 西川 徹\* 東京医科歯科大学  
委員 久住一郎 北海道大学  
鈴木道雄\* 富山大学  
村井俊哉\* 京都大学  
吉川武男 理化学研究所

##### 6) 倫理委員会

委員長 白川 治\* 近畿大学  
委員 鈴木道雄\* 富山大学

##### 7) 将来計画委員会

委員長 笠井清登\* 東京大学  
委員 岩田仲生\* 藤田保健衛生大学  
岡本泰昌 広島大学  
鬼塚俊明 九州大学  
久住一郎 北海道大学  
橋本亮太 大阪大学  
三村 將 慶應義塾大学  
村井俊哉\* 京都大学

##### 8) 関連学会対応委員会

委員長 佐野 輝\* 鹿児島大学  
委員 井上 猛 北海道大学  
上野修一 愛媛大学  
岡田元宏 三重大学

##### 9) 編集委員会

委員長 福田正人\* 群馬大学  
委員 村井俊哉\* 京都大学  
岡田元宏 三重大学  
鬼塚俊明 九州大学  
橋本謙二 千葉大学

##### 10) ブレインバンク設立委員会

委員長 丹羽真一 福島県立医科大学  
委員 有馬邦正 国立精神・神経医療研究センター  
池田匡志 藤田保健衛生大学  
池本桂子 いわき市立総合磐城共立病院  
石黒浩毅 山梨大学  
入谷修司 名古屋大学  
岩田仲生\* 藤田保健衛生大学  
岩本和也 東京大学

上里彰仁 東京医科歯科大学  
 大島健一 東京都立松沢病院  
 尾崎紀夫\* 名古屋大学  
 垣内千尋 東京大学  
 笠井清登\* 東京大学  
 加藤忠史 理化学研究所  
 神庭重信 九州大学  
 國井泰人 福島県立医科大学  
 齋藤利和 札幌医科大学  
 澤田 健 高知県立芸陽病院  
 白川 治\* 近畿大学  
 富田博秋 東北大学  
 新里和弘 東京都立松沢病院  
 西川 徹\* 東京医科歯科大学  
 布村明彦 山梨大学  
 橋本恵理 札幌医科大学  
 橋本隆紀 金沢大学  
 橋本亮太 大阪大学  
 菱本明豊 神戸大学  
 水上勝義 筑波大学  
 本村啓介 九州大学  
 和田 明 福島県立医科大学

## 11) うつ病対策ワーキンググループ

委員長 神庭重信\* 九州大学  
 委員 尾崎紀夫\* 名古屋大学  
 笠井清登\* 東京大学  
 加藤忠史 理化学研究所  
 功刀 浩 国立精神・神経医療研究センター  
 久保千春 九州大学  
 小山 司 北海道大学  
 白川 治\* 近畿大学  
 西田淳志 東京都精神医学総合研究所  
 野村総一郎 防衛医科大学校  
 福田正人\* 群馬大学  
 元村直靖 大阪教育大学  
 山脇成人\* 広島大学

## 12) WFSBP 2013 Local Organizing Committee Core Group (旧WFSBPワーキンググループ)

委員長 武田雅俊 大阪大学  
 事務局長 工藤 喬 大阪大学  
 募金委員長 尾崎紀夫 名古屋大学  
 登録委員長 加藤忠史 理化学研究所  
 展示委員長 木山博資 名古屋大学  
 プログラム委員長 神庭重信 九州大学  
 国際交流委員長 平安良雄 横浜市立大学  
 広報委員長 曾良一郎 東北大学  
 サテライト委員長 笠井清登 東京大学

接遇委員長 村井俊哉 京都大学

## 5.1 総務委員会

大久保理事より委員案が示され、原案どおり承認された。

## 5.2 広報委員会

山脇理事より委員案が示され、原案どおり承認された。その他の報告・合意事項は次のとおり。

①新ウェブサイト [www.jsbp.org](http://www.jsbp.org) が公開可能な段階まで整備されたため、本理事会での報告を経て全会員へのメール配信でアナウンスを行う。

②今期に新ウェブサイト開発元のノートコード社で生じる費用については、リニューアルに関する内容のみとなるが、次期以降の運用コストについては見積書を基に山脇理事にて検討する。

## 5.3 財務委員会

岸本理事より委員案が示され、原案どおり承認された。

## 5.4 国際交流委員会

尾崎理事、神庭理事に代わり武田理事長より委員案が示され、原案どおり承認された。また、同委員会の任務は主にWFSBP・アジア諸国との交流のコーディネーションであり、定例事業として韓国・台湾・香港の各生物学的精神医学会との若手研究者交流プログラムを行っていることが報告された。

## 5.5 学術賞委員会

西川理事より委員案が示され、原案どおり承認された。

## 5.6 倫理委員会

白川理事より委員案が示され、原案どおり承認された。その他の報告・合意事項は次のとおり。

①2012年度より、年次学術集会における一般演題以外のセッションにおいては演者に対して利益相反関係の開示を推奨する。一般演題については、演題募集要領を含めた開示体制が早期に整備できるよう、引き続き審議を行っていく。

②弁護士等の外部専門家委員への委嘱形態につき、同規模の学会における事例調査を学会支援機構で行う。

## 5.7 将来計画委員会

笠井理事、岩田理事に代わり武田理事長

より委員案が示され、原案どおり承認された。その他の報告・合意事項は次のとおり。

- ①笠井理事、岩田理事より、若手研究者プログラム案として、第34回日本生物学的精神医学会における教育セッション「未来型の生物学的精神医学研究」と、「若手研究者奨励プログラム賞」の提案があった。
- ②教育セッション「未来型の生物学的精神医学研究」は第34回日本生物学的精神医学会会期中に開催する予定である。時間帯等の詳細については引き続き調整を行う。
- ③「若手研究者奨励プログラム賞」については、TraineeとMentorの関係性等に関し十分な合意が得られるよう、引き続き審議を行っていく。

#### 5.8 関連学会対応委員会

佐野理事より委員案が示され、原案どおり承認された。その他の報告・合意事項は次のとおり。

- ①第54回日本神経化学会において、同学会と本学会による合同シンポジウム「うつ病の分子的基盤」が開催された。
- ②第34回日本生物学的精神医学会は第11回アジア太平洋神経化学会大会、第55回日本神経化学会との合同開催となるが、これらの会期中にも日本神経化学会と本学会による合同シンポジウムが企画されている。
- ③第107回日本精神神経学会のプログラム「関連学会からの報告」において、本学会からの報告事項としてWFSBP 2013の準備状況等の報告が行われた。

続いて米田会長より、日本神経科学学会から米田会長に対し第34回日本生物学的精神医学会における社会脳科学領域に関する同学会との合同シンポジウム開催の可能性に関する打診があったことについての報告がなされ、合同開催を積極的に推進して行くことが確認された。本件についても本委員会の所管事項として、開催要領等の詳細を佐野理事より関係各位に確認し、追って理事会に報告する。

#### 5.9 編集委員会

福田理事より委員案が示され、原案どお

り承認された。その他の報告・合意事項は次のとおり。

- ①今期の同委員会では担当理事が委員長を兼任する形態を取っているが、これは必ずしも申し合わせによるものではなく、状況に応じ柔軟に運用することが可能である。なお、公募中の新委員候補については現時点で応募は無い。
- ②J-Stageへの収載にあたり、現在は依頼原稿についても査読を実施している。査読は編集委員長に集約する体制となった。
- ③投稿論文における利益相反関係の開示については、年次学術集会や役員・委員における開示について倫理委員会での結論が出た段階で審議を再開する。また、年次学術集会の抄録集が機関誌のSupplementとして位置づけられたことに伴い、発表内容の著作権譲渡に関する手続を整備する必要性が生じているため、演題募集要領において抄録集の著作権が学会にあることを明示するよう大会長に依頼している。
- ④掲載記事の商業利用に関するレギュレーションについては、他学会の動向を注視しながら、引き続き審議を行っていく。
- ⑤誌名変更により、ISSNの再取得とJ-Stageへの再登録の必要性が生じている。これらの作業には編集代行の新興医学出版社が当たっているが、作業量によっては手数料が生じる可能性があり、必要に応じ次期予算に相当分を計上する。
- ⑥「脳と精神の医学」が新興医学出版社から本学会の刊行に移行して以来、Medical Onlineへの収載が停止されていたが、J-Stageとの二重登録に権利関係の問題が無いことが確認されたため、ユーザーの便宜を図り、移行後の各号についてJ-Stageでの公開後に収載を再開する。
- ⑦アドバイザー・エディターの位置付けについては、委員会内で方針を検討し、追って理事会に付議する。

#### 5.10 ブレインバンク設立委員会

武田理事長より丹羽委員長による委員案が示され、原案どおり承認された。その他の報告・合意事項は次のとおり。

①文部科学省の脳科学研究戦略推進プログラムとしてブレインバンクの基盤整備が採択されたが、同事業の活発な推進には関連する学会、研究機関との連携をさらに緊密なものとする必要があり、引き続き課題整理に向けた調整に注力して行く。

5.11 うつ病対策ワーキンググループ  
神庭理事に代わり武田理事長より委員案が示され、原案どおり承認された。

5.12 WFSBP ワーキンググループ  
武田理事長より委員案が示され、原案どおり承認された。なお、WFSBP 2013の誘致が成功したことを受け、本ユニットは同メンバーのまま WFSBP 2013 Local Organizing Committee Core Groupに移行することとなり、本理事会と同日に Core Groupとしての初の会議が開催されたことが報告された。

## 6. WFSBP 報告

平安オブザーバーより標記の件に関する説明があった。報告・合意事項は次のとおり。

- ①2011年5月にプラハで Executive Committee (EC) Meeting が開催された。WFSBP では数年前より比較的厳しい財政状況が続いていたが、Congress の開催スパンを2年に短縮する等の対策により改善の兆しが見えて来ている。
- ②今後の Congress として、2015年はアテネ、2017年はコペンハーゲンでの開催が予定されている。
- ③今後の EC Meeting として、2012年5月（イスタンブール）、9月（神戸）、WFSBP 2013の会期中となる2013年6月（京都）が予定されている。京都の会議において EC 役員の改選となるが、この際に EC の役職構成が変更となる可能性がある。

## 7. 第34回大会準備状況報告

米田会長より標記件に関する説明があった。報告・合意事項は次のとおり。

- ①第11回アジア太平洋神経化学学会大会、第55回日本神経化学会との合同テーマとして「生物学的知からのパラダイムシフト—分子から精神への統合—」とした。
- ②海外招待者としては George Kirov (Cardiff

Univ., UK), Florence Thibaut (Univ. of Rouen, France), Robertas Bunevicius (Lithuanian Univ. of Health Sci., Lithuania), Norbert Müller (Univ. München, Germany), Siegfried Kasper (Med. Univ. of Vienna, Austria) を予定している。

③同大会会期中に予定されている WFSBP EC Meeting では、WFSBP 2013の会場となる京都国際会館の視察を含めて丸一日程度、WFSBP 2013 International Scientific Program Committee では半日程度の所要時間が想定されている。

## 8. 第35回大会 (WFSBP 2013) 準備状況報告

武田理事長より標記件に関する説明があった。報告・合意事項は次のとおり。

① WFSBP 2013のホスト学会としてプログラム編成に積極的な参画をすべく、Local Organizing Committee 兼任の会員に対して Plenary Lecture やシンポジウム案の提案を広く募る。

## 9. 第36回大会について

武田理事長より第36回大会長の選任に関する調整を開始したことが報告された。

## 10. その他

### ①名誉会員推戴の件

武田理事長より、次回評議員会において高橋清久理事長を名誉会員に推戴することが提案され、承認された。

### ②自殺総合対策大綱改正レビュー報告書の件

武田理事長より、尾崎理事の作成した案を基に、西川理事、福田理事が加筆した標記レビュー報告書案が示され、原案どおり承認された。本理事会での承認を受け、国立精神・神経医療研究センター自殺予防総合対策センターに同報告書を提出する。

### ③次回理事会日程の件

武田理事長より、第107回日本精神神経学会学術総会の機会を得て、2012年5月24～25日の開催について各役員にアンケートを実施し、出席可能者数によっては他日程での開催を検討することが提案され、了承された。

以上

## 2012年度前期の国際学会発表奨励賞の 公募について

2012年前期（4月から9月）に開催される国際学会での発表者を対象として下記の要領で標記賞受賞候補者の募集を行いますので奮って応募（推薦）して下さいようお願い申し上げます。なお、評議員の先生方には推薦用紙が送付されます。

### 記

1. 規定は以下のとおり
2. 推薦要領 推薦用紙、評価の参考となる資料（抄録・サーキュラー・学会プログラム等）8部を同封し、以下送付先宛ご送付下さい。
3. 送付先 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13  
学会支援機構内  
日本生物学的精神医学会事務局気付  
理事長 武田雅俊
4. 応募締切日 2012年6月29日（金）必着  
以上

### 日本生物学的精神医学会国際学会発表奨励賞規定

1. 設置 日本生物学的精神医学会は規定により研究奨励賞（国際学会発表制度）を設ける。
2. 名称 名称は、日本生物学的精神医学会国際学会発表奨励賞とする。
3. 対象 原則として応募時年齢35歳未満の会員で、国際学会に参加し、将来性のある優れた研究を発表する者に贈られる。対象となる学会および発表される研究内容については選考委員会が評価を行う。
4. 表彰 研究奨励賞は賞状および副賞とし、副賞は15万円とする。
5. 募集 募集は年2回行う。前期は当該年度4月から9月の間に、後期は当該年度10月から3月の間に開催される国際学会に参加する者を対象とする。
6. 選考
  - 1) 研究奨励賞を選考するために本学会内に選考委員会を設ける。
  - 2) 選考委員は理事・評議員より理事会で選出する。委員長は委員の互選により決定する。委員は6名とし任期は2年とする。再任は妨げない。
  - 3) 選考対象者と同一講座（大学以外の機関はこれに準ずる部局）に所属する選考委員は、その年度の選考には加わらないものとす

る。

- 4) 選考委員会は受賞者を決定し、委員長は当該者なしの場合も含めて理事長に報告する。委員長は年会の際に開催される理事会に選考経緯および結果を、また評議員会に選考結果を報告する。

付則 (1) 本規約は1999年4月22日より施行する。

## 日本生物学的精神医学会 2012年度「若手国際交流プログラム」 公募のご案内

本年度も昨年度に引き続き、韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会に参加して研究発表をする若手研究者を公募いたします。会員の皆様におかれましては、本プログラムの趣旨をご理解の上、多数ご応募いただきますようご案内申し上げます。

### 記

1. 趣 旨 本学会は、アジア地域における精神医学領域の研究の発展と交流を促進するために、韓国、台湾、香港の生物学的精神医学会との間に「若手交流プログラム」を締結いたしました。この取り決めに基づいて、日本と韓国、日本と台湾、日本と香港の各生物学的精神医学会は、それぞれの年次学術集會に若手研究者2名をお互いに招聘することになっております。本年度の日本生物学的精神医学会には韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会からそれぞれ2名の若手研究者が来日し、研究発表をすることを予定しておりますが、これに対応する形で、韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会に参加して研究発表をしていただくために若手研究者を派遣するものです。
2. 応募資格 申請日現在に40歳以下の本学会会員であること。
3. 応募方法 次の書類を日本生物学的精神医学会事務局気付、国際交流委員長 (jsbp@asas.or.jp) 宛にEmail添付でご提出下さい。
  - 1) 応募用紙（書式不問・以下A～F全てを記載）
    - A. 氏名, B. 所属, C. 連絡先, D. 派

遺希望国, E. 応募の背景と理由400字以内, E. 英文発表予定演題名, F. アブストラクト300word以内)

2) 履歴書および業績目録(書式不問)

4. 応募期限 2012年5月31日(木) 必着
5. 募集人員 本年度は, 韓国, 台湾, 香港への各2名で合計6名の派遣を予定しております。
6. 学会日程 韓国, 香港, 台湾の各学会の開催日と場所は, 各学会より通知があり次第, 本学会ウェブサイト等で公開いたします。
7. 賞の内容 選出された若手研究者は, 韓国, 台湾, あるいは香港の各生物学的精神医学会の学術集会いずれかに招聘され研究成果を発表するとともに, 渡航・滞在費として各USD 1,000の支給を受ける。
8. 選考方法 会員に対し公募を行い, 国際交流委員会にて候補者を選出し, 理事会に

て決定。

9. 結果通知 理事会決定後, 本人宛に通知いたします。

以上

---

### 第34回日本生物学的精神医学会

- ウェブサイト <http://www.congre.co.jp/jsbp2012/>
- 会期 2012年9月28日(金)～30日(日)
- 会場 神戸国際会議場  
兵庫県神戸市中央区港島中町6-9-1
- テーマ 生物学的知からのパラダイムシフト
- 会長 米田 博  
(大阪医科大学総合医学講座神経精神医学教室教授)
- その他 第11回アジア太平洋神経化学会大会・  
第55回日本神経化学会大会と合同開催
- 問合せ先 第34回日本生物学的精神医学会運営事務局：株式会社コングレ内  
Tel：06-6229-2555  
Email：jsbp2012@congre.co.jp